

# デフリンピック

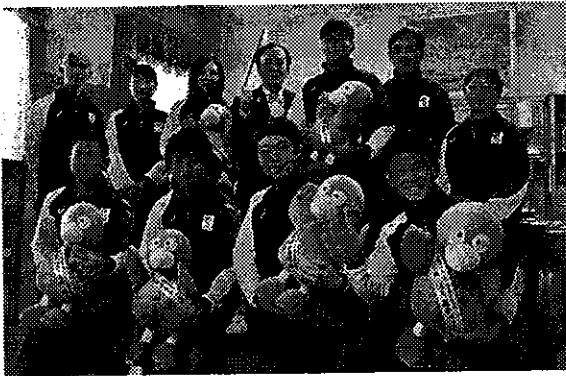
## 「メダル獲得を」

県内6選手が知事表彰

聴覚障害がある選手による国際大会、夏季デフリンピック(7月18〜30日、トルコ・サムスン)に出場する県内在住の選手6人と監督らスタッフ4人が11日、上田清司知事を表敬訪問した。4年前の前回大会バドミントン女子ダブルスで4位だった品田千紘選手(27)「朝霞市」は「前回はメダルを取れず悔しい思いをした。その思いを晴らすために

4年間ずっと頑張ってきた。その気持ちを表してメダルを獲得したい」と抱負を述べた。

夏季デフリンピックは4年に1度開催される。今回派遣される日本人選手108人のうち、県内在住の選手は8人。この日は品田選手のほか、バドミントンの沼倉昌明(31)朝霞市、サッカーの岡田拓也(20)川口市、大西諒(23)八潮市、林滉大(20)さいたま市、テニスの親松直人(24)熊谷市の5選手が訪れた。



上田清司知事(上段中央)を表敬した品田千紘選手(同左から3人目)らデフリンピックに出場する選手ら11日午前、知事室

品田選手は「県民や全国の方から多大な応援をいただいている。その期待に応えられるよう頑張りたい」と述べ、上田知事から「3位以内に入る自信はありますか」と問われると「あります」ときっぱりと答えた。

知事は手話を交えながら「しっかりと頑張ってください」と選手団を激励した。

(福田龍之介)

上田知事(後列中央)に活躍を誓ったデフリンピックの県内在住選手(11日、県庁で)＝福益博子撮影



## デフリンピック 6選手 活躍誓う

聴覚障害者による4年に1度の国際スポーツ大会「第23回夏季デフリンピック競技大会」が今月18日からトルコで開催されるのを前に、日本代表に選ばれた県内在住の選手のうち6人が11日、県庁を訪れて上田知事に手話で活躍を誓った。

6人のうち、バドミントンの品田千紘選手(27)(朝霞市

在住)はブルガリアで開かれた前回大会にダブルスで出場。4位と、あと一步でメダルを逃した。「悔しい思いを晴らすため、4年間頑張ってきた。県民の皆さんの期待に応えられるよう頑張る」と意気込んだ。上田知事も手話で「みなさんしっかり頑張ってください」とエールを送った。

同大会は今月18～30日の日程でトルコのサムスンで行われる。73か国・地域が参加し21競技が行われる予定で、県内からは18～51歳の8人が出場する。



## デフリンピック 選手が活躍誓う

知事を訪問

4年に1度の聴覚障害者のスポーツの祭典「デフリンピック」に出場する県在住の選手が11日、県庁を訪れて活躍を誓った。上田清司知事は「皆さん、しっかりと頑張ってください」と手話で激励した。

第23回夏季デフリンピックは18日からトルコで開催される。日本選手団108人のうち8人が県内在住者。この日は3競技の男女6人が訪れた。

バドミントンの品田千紘選手(27||朝霞市)は前回大会で女子ダブルス4位。「メダルまであと一歩で悔しい思いをした。4年間、頑張ってきた。メダルを取って

帰ってきたい」。サッカーの大西諒選手(23||八潮市)は「まずはグループリーグ突破を目指して頑張りたい」と意気込んだ。(金子智彦)